我々にしかできない
プロの技術で
様々なお客様のニーズに
お応えいたします

環境報告書Ver7

株式会社東北ターボ工業

株式会社東北ターボ工業

〒020-0841 岩手県盛岡市羽場13地割30番地11
TEL：019-681-6606　FAX：019-681-6607
http：//ww.t-turbo.co.jp



代表挨拶



代表取締役
生内一晶

私たち東北ターボ工業グループは、産業廃棄物の収集運搬・中間処理・再資源化をはじめ、下水道管路維持管理、アスベスト・ダイオキシン除去、解体、土木工事、太陽光発電設備工事、電気工事、給排水工事、空調工事、防水工事、アルミサッシ工事、内装工事、不動産事業などを行っており、地域のくらしを支える幅広い事業を展開しています。社会インフラや環境のリスクが次々と顕在化する中で、私たちは"現場から社会を支える"という使命のもとに行動してきました。私たちの仕事は、目に見えにくいところで人々の生活を守る仕事です。 社員一人ひとりが「自分や家族のために働く」その日々の努力が、結果として地域の安全や環境の保全につながっています。誰かの暮らしを守ることが、私たち自身の誇りであり、使命です。

また、私たちは単なる"処理業者"ではありません。廃棄物や汚泥、残土を正しく扱い、再資源化・再利用の可能性を追求することで、環境を守りながら、確かな経済活動を積み重ねてきました。 持続的に利益を生み出し、社員や取引先とともに成長していくことが、結果として地域全体の力にもつながると考えています。 お客様に「東北ターボ工業に頼んでよかった」「取引してよかった」「東北ターボ工業に任せれば安心だ」と感じていただけるよう、誠実に、真摯に、技術と品質を磨き続けてまいります。「街の誰かのために」という想いを胸に、これからも挑戦を続け、信頼に応える企業であり続けます。

会社概要

会社名	株式会社東北ターボ工業
代表取締役	生内　一晶
所在地	岩手県盛岡市羽場13地割30番地11
TEL	019-681-6606
FAX	019-681-6607
URL	www.t-turbo.co.jp
設立	昭和55年(1980年)8月4日
資本金	9,800万円
従業員数	90名
事業内容	産業廃棄物処理、下水道管路管理、超高圧水工事、解体工事、アスベスト・ダイオキシン対策工事、空調ダクト清掃、防水工事、電気工事、土木工事、RCF(リフラクトリーセラミックファイバー)対策工事、残土処理・再生
関連会社	株式会社北日本総合設備サービス、株式会社インターディメンションズ 、株式会社及川工務店、有限会社伊藤土地開発研究所、有限会社カマタキ

盛岡市子ども科学館 ネーミングライツ・パートナー



株式会社東北ターボ工業は盛岡市役所において「盛岡市子ども科学館 ネーミングライツ・パートナー契約締結式」を行いました。
施設の愛称は「東北ターボこども科学館」となり、2026年6月1日より新愛称の使用を開始いたします。当社は2019年から社会貢献活動の一環として、子ども科学館を資金面・物品面で支援してまいりました。今回のネーミングライツ・パートナー契約は、その取り組みをさらに深めるものです。今後も地域の子どもたちの学びを支える活動を継続してまいります。

建築物石綿含有建材調査者協会より感謝状授与



2026年6月26日に開催された「一般社団法人 建築物石綿含有建材調査者協会（ASA）設立10周年記念式典・特別講演会 ― 石綿リスクと石綿調査の重要性を考える」において、感謝状をいただきました。この感謝状は、盛岡での実地研修に会場を提供するなど、当協会の地方における研修の充実に貢献したことに対して贈呈されたものです。今後も石綿による健康リスクの低減と適正な建築物調査の普及に貢献できるよう努めてまいります。

地域清掃活動実施



株式会社東北ターボ工業は、令和8年4月16日・17日の2日間にわたり、矢巾町南昌地域の道路清掃活動を実施しました。この清掃活動は30年以上続けている地域貢献活動です。今回、本活動について岩手建設工業新聞社に取材いただき、令和8年5月1日付の「日刊岩手建設工業新聞」に掲載いただきました。今後も株式会社東北ターボ工業は、清掃活動を通じて地域住民の皆様とのコミュニケーションの活性化を図りながら、「社会・環境への貢献」「周辺地域の美化」「社員のCSRへの参加意識向上」に積極的に取り組み、循環型社会の実現と社会の持続的発展に向けて行動してまいります。

安全大会



株式会社東北ターボ工業は令和8年6月12日(金)に、「安全大会」を弊社グループ共同で開催いたしました。前年度の活動報告、並びに今年度の活動計画の発表の他岩手労働局 盛岡労働基準監督署 安全衛生課の方を講師としてお招きし、県内で発生した災害事例を題材とした再発防止策や、夏季に向けた熱中症対策、昨今問題になっている熊対策などの最新知見をご講話いただきました。
今後も株式会社東北ターボ工業は「安全第一」を基本に、循環型社会の実現と地域社会の持続的発展に貢献してまいります。



「お客様に信頼と安心を」
それが私たちの想いです

アスベスト工事

社会問題となっているアスベスト（石綿）は建築物の天井や煙突以外にも様々な場所、意外な場所に使われています。最新の機器を備え、担当スタッフの教育訓練も充実し、調査から施工計画、実際の工事からアスベスト廃棄物を適正処理、発注者様への報告を安全且つ丁寧に行ないます。また、建築物の通常使用や解体改修時等のアスベスト飛散・漏洩による健康障害を未然に防止するための、アスベスト含有建材調査を正確に行なうスタッフも揃え対応しております。





下水道管路管理

高圧洗浄車、強力吸引車、調査用テレビカメラ車等、30年以上のキャリアと専門スタッフが最新の機材で、調査から止水・削孔・補修・改築工事、メンテナンスまでワンストップで対応いたします。また、平成27年11月の下水道法改正により、下水道の計画的な維持管理が義務付けられました。発生対応型の維持管理ではなく、様々な機材を使い分け、効率的なデータ蓄積と修繕計画への反映を可能にします。



土木、防水、電気工事

高度経済成長期に集中的に整備された多くのインフラはそのほとんどが更新時期に差し掛かっています。土木工事では、建設汚泥や建設発生土の再資源化から生まれた特殊技術やノウハウ、現場経験を組み合わせ、発注者からの課題をクリアできる施工法を選択し、施工します。
防水工事では、屋上のシート防水から家庭用防水、コンクリート汚水槽の防食工事を得意としています。電気工事では、揚水ポンプの設置、キュービクルの設置、汚水処理設備の計装電気工事等を得意としてご用命を受けております。



土木工事



防水工事



電気工事

拠点概要



本社
〒020-0051 岩手県盛岡市羽場13地割30番地11
TEL 019-681-6606 FAX 019-681-6607



矢巾営業所
〒028-3621 岩手県紫波郡矢巾町広宮沢1-2-113
TEL 019-697-3290 FAX 019-697-5510



宮城支店
〒983-0035 宮城県仙台市宮城野区日の出町3-5-26
TEL 022-352-8124 FAX 022-352-8175



花巻資材センター
〒028-3163 岩手県花巻市石鳥谷町八幡13地割
TEL FAX



関東支店
〒124-0002 東京都文京区本郷4-16-6 天翔オフィス後楽園203号
TEL 03-6662-7646 FAX 03-6662-7663

会社概要

1978年8月	会社設立
1982年6月	産業廃棄物処理施設完成、土木工事業開始
1983年8月	下水道維持管理業開始
1985年7月	防水工事業開始
1988年8月	アスベスト・ダイオキシン処理事業開
1989年4月	仙台営業所開設
1992年4月	空調ダクトクリーニング事業開始
2004年6月	電気工事業開始
2019年8月	有限会社北日本冷暖房サービスの完全子会社化
2021年2月	株式会社インターディメンションズの完全子会社化
2021年4月	関東支店開設
2021年9月	株式会社及川工務店の完全子会社化
2022年3月	岩手県再生資源利用認定製品認定証(ﾕﾆ･ﾘｲﾙ)取得
2022年12月	仙台支社と宮城支店を統合し、宮城支店とし、仙台市宮城野区日の出町3-5−2へ移転
2023年4月	関東支店を東京都文京区本郷4-16-6 天翔オフィス後楽園203号室へ移転
2023年12月	旧本社と管理センターを統合し、盛岡市羽場13地割30-11に統合・移転
2024年4月	ストックヤード運営事業者登録
2024年4月	いわて健康経営認定事業所登録
2024年12月	ISO14001の認証取得
2025年4月	有限会社伊藤土地開発研究所の完全子会社化
2025年６月	基準適合産業廃棄物処理業者認定証(★★★)更新
2025年９月	有限会社カマタキの完全子会社化



運搬車両

産業廃棄物の収集運搬車両は、新型の大型バキューム車から強力吸引車、アームロール車、深塵介車まで幅広く用意しています。また、収集・運搬においては、産業廃棄物の飛散・流出防止、悪臭・騒音・振動対策として、産業廃棄物の種類等に合わせた収集運搬車、保管容器を選択し、地域に安心してお任せ頂けるように取り組んでいます。



大型吸引車



３ｔ吸引車



大型ダンプ



７ｔユニック車



６ｔアームロール



10ｔアームロール



大型深ダンプ



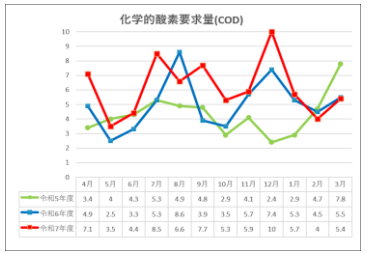
３ｔトラック車

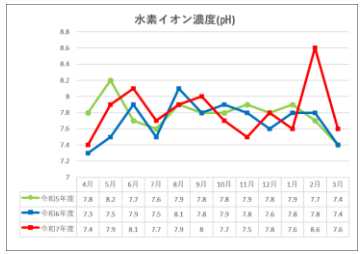


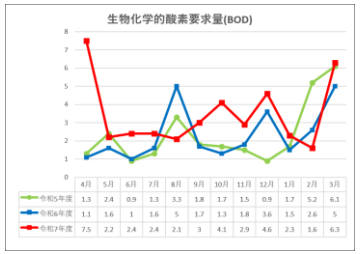
２ｔ箱車

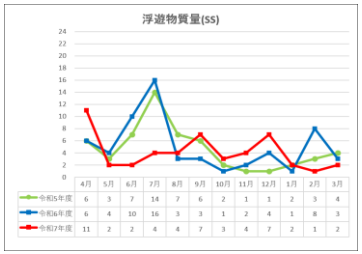
水質検査結果

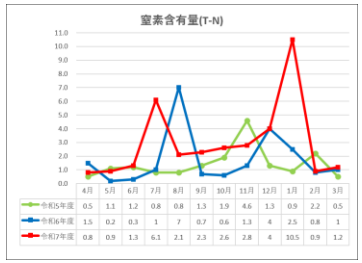
汚泥などを処理した際に発生する排水を水処理施設にて処理を行い、グラフは放流する際の水を分析した結果になります。「水素イオン濃度」とは、水溶液中の酸性・アルカリ性を示す物理量。「生物化学的酸素要求量」とは、水質指標のひとつであり、水中の有機物などの量を、微生物が分解するために必要とする酸素の量。「化学的酸素要求量」とは、水質指標のひとつであり、水中の被酸化性物質を酸化するために必要とする酸素の量。「浮遊物質量」とは、水の汚染度を示す指標で、水中に浮遊・懸濁している固形物の量。「窒素含有量」とは、水中などに含まれる窒素の量で、量が多いとプランクトンの著しい増殖をもらたす恐れがあります。管理目標基準値は水素イオン濃度(5.8～8.6)、生物化学的酸素要求量(60mg/ℓ以下)、化学的酸素要求量(90mg/ℓ以下)、浮遊物質量(60mg/ℓ以下)、窒素含有量(120mg/ℓ以下)で管理します。水質検査の結果としては、全ての項目で基準値より大きく下回っており、ここ数年でも安定した数値となっております。







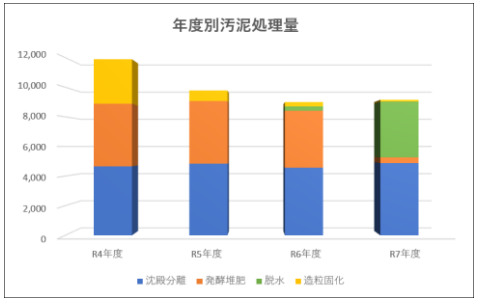






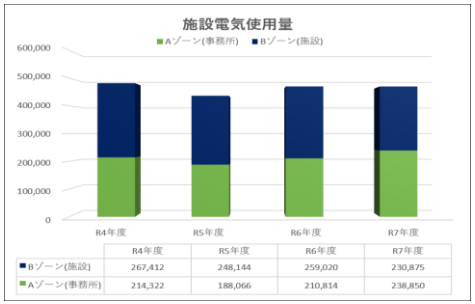
運搬・処分実績





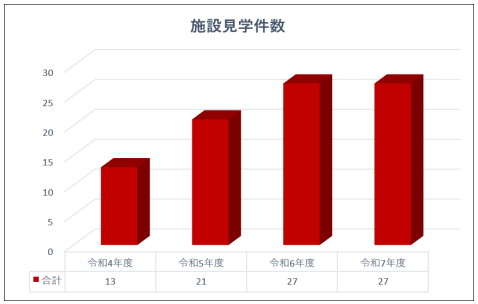
汚泥の運搬・処分量を示したグラフになります。令和7年度の処分場への自社運搬量は5.174ｔとなりました。処分量は、令和7年度で9.154ｔとなりました。前年度と比べると若干増えました。造粒固化処理が可能な、土木現場から排出される建設汚泥がここ数年少なくなっています。より皆様に利用して頂ける施設にする為に今後とも努力してまいります。

電気使用量



処理施設で使用している電気使用量を示したグラフになります。施設の稼働方法などを見直した結果、ここ数年は使用量を抑え、安定した使用量で推移出来ています。これを維持できる様にこれからも取り組んでいきます。

施設見学件数



処理施設に見学に来ていただいた件数を示したグラフになります。コロナ化で減少した見学件数も、令和5年度から、少しずつ増加の傾向にあります。
より一層皆様に施設を見ていただける様に努力してまいります。

グリストラップ清掃

「グリストラップ」とは、厨房からのゴミや油脂を含んだ排水を、そのまま流さず、分離・収集する槽のことです。飲食店等、全ての厨房その他の調理場には、グリストラップの設置が義務付けられています。（建築省告示第1597号）株式会社東北ターボ工業では、盛岡、北上、八幡平、雫石、滝沢、花巻エリアの飲食店などにあるグリストラップの清掃、清掃時に回収した油泥、残渣（産業廃棄物）の処理まで、一括して行います。グリストラップ清掃を怠ると、不衛生で雑菌が繁殖し、ネズミやゴキブリなどが棲みついたり、何となくドブ臭いような悪臭が漂うようになることもありますので、定期的な清掃が必要です。 また、お店同士が隣接している、車両を止める道路が目の前にない等、難しい場所でも対応できる技術と設備を有していますので、気軽にご相談ください。

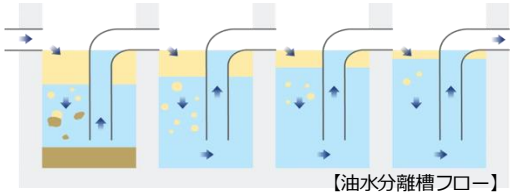






油水分離槽清掃

油水分離槽とは、ガソリンスタンドや工場等に設置してある連続型の桝で、油の特性である水より軽い密度を利用して浮いた油は留め置き、水だけを次の槽に流す事を3回～4回繰り返すことにより、油を施設外に放出しないための構造物で、定期的な清掃と回収が必要です。槽を経由することにより油が浮き、泥・ゴミが沈み、汚濁負荷の減った排水が下水道に流れます。下水道に油が流出すると下水管内での火災が起きたり、下水処理機能の阻害を引き起こす恐れがあるので、定期的に検査をし、溜まった泥やゴミを取りのぞきます。定期的な清掃により、油水分離槽からの油分が河川に流出することを防ぎます。例年、田植えの始まる頃や梅雨の季節（３月～６月）には油水分離槽が溢れ、油が流出する事故が多発しています。油流出事故による緊急対応等で多額の費用のご負担をなくすため、計画的な作業のご依頼をお勧めいたします。


【油水分離槽フロー】









「お客様に信頼と安心を」
それが私たちの想いです



無機汚泥の沈殿分離施設

「無機性汚泥」は沈殿分離施設にて、水分と沈殿物を分離させ、減容化し処理致します。中間処理の後の汚泥は、衛生的で取扱いやすい状態にし、セメント工場にてサーマルリサイクルとして、セメント原料などの用途として再生利用されています。



無機汚泥の造粒固化施設

造粒固化施設では、水分を脱水などせずに無機汚泥と特殊固化材を撹拌・混合し、固めることによって、造粒固化後の無機性汚泥は、岩手県再生資源利用認定製品にも認定されているユニ・ソイル（高質土）として路床材や盛土材、埋め戻し材、防草材等の用途として製品販売しています。





有機汚泥の脱水処理施設

「有機性汚泥」は脱水処理施設にて、脱水汚泥と分離水に分け、減容化し処理致します。脱水後の有機性汚泥は、汚泥肥料のちから1号の原料や堆肥工場へリサイクル原料として利用されています。



有機汚泥の発酵堆肥処理施設

「有機性汚泥」は発酵堆肥処理施設にて、微生物活性などにより発酵させ、処理致します。
発酵後の有機性汚泥は、汚泥肥料のちから1号として製品販売や堆肥工場へリサイクル原料として利用されています。





管理型の埋立処分場

本来は、燃え殻、汚泥、廃プラスチック類などを受入する事が出来ますが、現在は管理型の埋立処分場は、中間処理施設の故障や緊急時などを除き、原則、受け入れをしておりません。



事業内容

当社は、産業廃棄物の収集運搬処分と再生、汚泥処理技術を活かした下水道管管理や防水工事、アスベスト・ダイオキシン除去、各種電気工事、グリーストラップ清掃、土木工事を行い、廃棄物処理を通じて、資源再生だけでなく、地域のくらしに密接に関わる事業に取り組んでいます。事業者から排出される産業廃棄物を、性状に合わせた車両での運搬し、沈殿分離処理、脱水処理、発酵堆肥処理、移動式脱水施設による脱水処理、造粒固化施設による固化処理、埋立処分にて処理いたします。沈殿分離処理、移動式脱水施設による脱水処理については、汚泥を取扱い、中間処理後はセメント原料などにリサイクルされます。脱水処理、発酵堆肥処理については、汚泥、動植物性残さ、動物のふん尿を取扱い、中間処理後は堆肥に製造されます。造粒固化施設による固化処理については、汚泥を取扱い、中間処理後は造粒製品（ユニソイル）に製造されます。埋立処分については、燃え殻、汚泥、廃プラスチック類、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、鉱さい、がれき類、ばいじん、産業廃棄物を処分するために処理したものを取扱い、管理型埋立処分場にて処分されます。株式会社東北ターボは企業の社会的責任を果たすため、企業倫理を守り、法令を遵守し、地域に貢献していく所存です。これからもこの業界の先駆者として、全力で邁進してまいります。

処理能力、構造及び設備の概要

沈殿分離処理施設
・処理能力：30㎥／日
・構造及び設備の概要：処分のための保管設備、処理施設、処分後の保管設備
脱水処理施設
・処理能力：9.84㎥／日、8㎥／日
・構造及び設備の概要：処分のための保管設備、処理施設、処分後の保管設備
発酵堆肥処理施設
・処理能力：13.24㎥／日
・構造及び設備の概要：処分のための保管設備、処理施設、処分後の保管設備
移動式脱水施設
・処理能力：100㎥／日
・構造及び設備の概要：処理施設
造粒固化施設
・処理能力：120㎥／日
・構造及び設備の概要：処分のための保管設備、処理施設、処分後の保管設備
埋立施設（管理型）
・処理能力：12,424.00㎥／日
・構造及び設備の概要：地下水検査設備、浸透水採取設備、調整池、水処理施設など



維持管理計画

排出事業場、種類、数量、性状等について、契約している内容と相違がないか、マニフェスト伝票、計量証明書及び目視等で確認を行う。また計量については、場内のトラックスケールにて行う。受入廃棄物は、それぞれの性状にあった保管庫にて保管し、施設を定期的に保守点検する。施設の周囲に囲いを設け、産業廃棄物が飛散・流出・地下浸透、悪臭が発散しないように努めます。特に飛散、悪臭の発生する恐れのあるものについては、必要に応じて消臭剤等も使用する。また、必要に応じて最小限の殺鼠剤、殺虫剤を散布し、害虫等の発生を予防する。
振動・騒音振動については発生が少ない施設ですが、状況に応じて防音壁や防振マット等を使用する。粉じんについては状況に応じて散水などにより粉じんを防止する。